
株式会社 J R 中央線コミュニティデザイン

サステナビリティレポート 2022



ここにしかない暮らしをつくる

株式
会社

JR 中央線コミュニティデザイン

Vision

ここにしかない暮らしをつくる

Mission

「駅」の定義を書き換えながら、
次の快適・安心・よろこびを創造し、
暮らしへの愛着をともに育む。

Value

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 誰よりも深く地域を考えよう | 2 やってみようを合言葉に |
| 3 前例よりも異例を目指そう | 4 自分の成長を仲間の成長へ |
| 5 役割を超えて連携しよう | 6 感謝の気持ちをエネルギーに |

1. Introduction～はじめに



1. Introduction～はじめに

2. Social～社会

3. Environment～環境

4. Governance～ガバナンス

(株)JR 中央線コミュニティデザインは、地域の魅力や可能性を広げるさまざまな事業活動を実施し、住み続けられる街づくりをはじめとする「持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）※」の実現に貢献していきます。

沿線地域に根差したパートナーとして、あらゆるステークホルダーのみなさまと一緒に持続的な発展・成長を目指していきます。

※SDGs とは、2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記載された、2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。



【編集方針】

本報告書は、(株)JR 中央線コミュニティデザインの事業活動について報告することを目的としています。「より多くの方々によりわかりやすく」をコンセプトに、図表や写真を多用し、可能な限り用語の補足説明なども行っています。実施している施策の内容については、測定結果や達成率などの客観的データも含めて紹介しています。

【報告対象期間】

データは 2021 年度の実績ですが、活動内容は、2020 年度以前のもの、および 2022 年度以降のものを含んでいます。

1. Introduction～はじめに

◆会社概要◆

会社名 株式会社 JR 中央線コミュニティデザイン (JRCCD)
主な事業 SC 事業／駅業務受託事業／高架下開発・活用事業／地域活性化事業／教育事業／ワークスペース事業
所在地 【本社】
〒184-0004 東京都小金井市本町 1-18-10
小金井本町ビル 5F
【八王子オフィス】
〒192-0083 東京都八王子市旭町 1-1
設立 2021年4月1日
資本金 12億3,000万円
代表者 代表取締役社長 高橋 好一

◆事業エリア◆

【セレオ八王子】



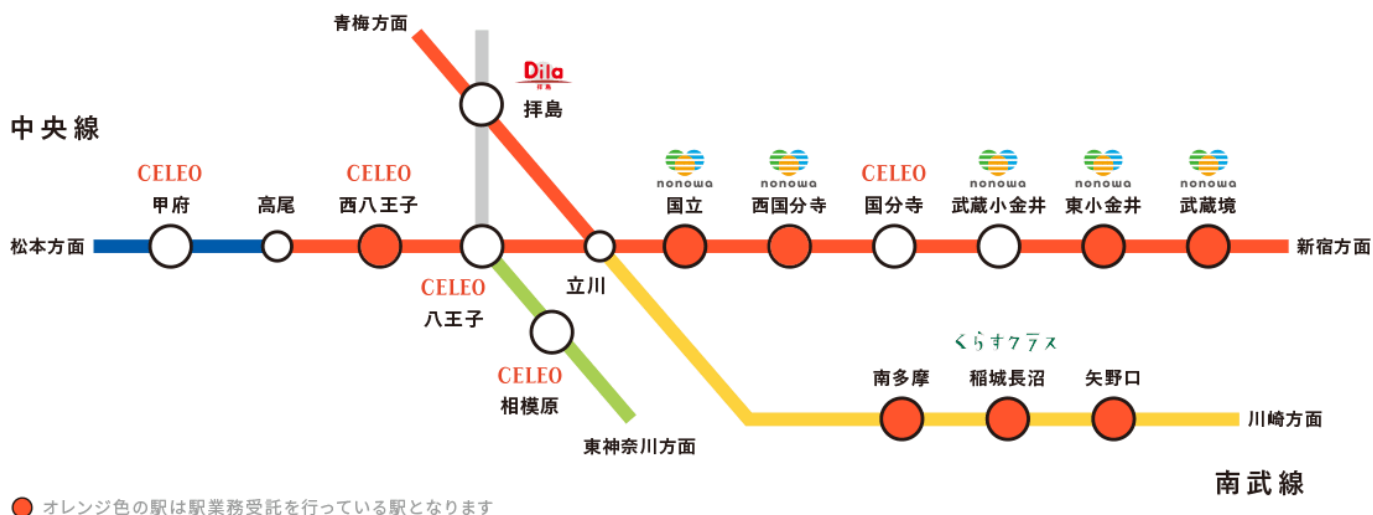
【セレオ国分寺】



【nonowa 東小金井】



【nonowa 武蔵境】



【セレオ甲府】



【nonowa 国立】



【プログラボ国立校】



【ののみちサカイ】

◆事業紹介◆



01.SC 事業

沿線の主要駅において、「CELEO」「Dila 拝島」「nonowa」の3つの商業施設を展開。地元の商店・クリエイターとも協業し、地域ごとに特色のある施設づくりを目指しています。

02.駅業務受託事業

中央線・南武線の一部の駅においてきっぷの販売や精算業務、ホーム上の安全確保、お客さまへのご案内などの駅業務を行っています。



03.高架下開発・活用事業

高架下スペースを利用し、店舗や保育園などが立ち並ぶ歩行空間を創出。また、シェアキッチンやシェアオフィス、学生寮などの空間活用も展開しています。



04.地域活性化事業

シェアリングスペースの設置やイベントを通じて地域コミュニティをつなぎ、地域ビジネスが生まれるきっかけをつくるとともに、ビジネス展開に使える多様な「場」を提供します。



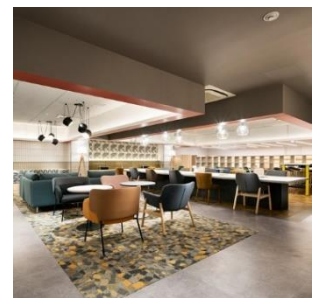
05.教育事業

子ども向けプログラミング教室「プログラボ」を運営するほか、沿線地域の学校や大学と連携し、体験型教育の「場」の提供なども推進していきます。



06.ワークスペース事業

駅という立地や移動時間を賢く活用し、新しい生き方や働き方を実現したい方々に向け、ビジネスにもプライベートにも使えるワークスペース「STATION SWITCH セレオ八王子」を運営しています。



1. Introduction～はじめに

◆コミュニティデザインの考え方◆



多様なニーズや興味をマッチングして、新たなマーケットの創造へ。

私たちが描く「コミュニティづくり」とは、
さまざまな「好き」や「欲しい」を持つ地域のみなさまをつなぎ合わせ、
ビジネスにつながる多様なマーケットを生み出すことです。

街や人の個性を大切にしながら、
この場所にしかない生き活きとした暮らしを創りあげていきます。

規模や分野にしばられない事業展開を。

スモールビジネスの活性化が、地域の大きな力になる。

趣味人や文化への関心が高い人々が集まると言われる
中央線エリアは、ほかにはない魅力的なコミュニティを
形成するポテンシャルに溢れています。その力を活かす
ためには、画一化された大きなコミュニティを創るの
ではなく、多様な個性を持つ小さなコミュニティをたく
さん生み出すことが必要です。さまざまなスモールビジ
ネスをともに育み、新たなマーケットを生み出していく
ために、より多くの人々が参画しやすい「場」や「機会」
を提供していきたいと考えています。



◆トップメッセージ◆

私たちが事業を営むこの沿線は、豊かな自然と由緒ある歴史があり、自由に生きる人々の生活が根付いています。地域によって個性は異なり、長年にわたりそれぞれの街を愛してくださってきた人々の想いを感じ取ることができます。

しかし、近年は少子高齢化をはじめとした構造的な課題に加え、生活者の嗜好の変化や活発な再開発などによる街の同質化が進み、周辺都市との地域間競合の様相も次第に顕著になってきました。

そのようななか、今後も愛され続ける沿線であるために私たちがすべきことは何か。それは「それぞれの地域の人々の声に地道に耳を傾け、真に求められる価値を見だし、私たちにしかできない方法で提供し続けること」と考えています。例えば、隠れたニーズや魅力をきめ細かく汲み取っていく。駅はこれまでの役割や機能に固執することなく、地域に必要な姿を追求する。時代とともに求められる価値は絶えず変わること念頭に、こうした取り組みを真摯に継続することです。

当社は、会社設立 11 年目を迎えた 2021 年 4 月 1 日に、同じ沿線上に事業展開する JR 東京西駅ビル開発(株)と合併し、新たなスタートを切りました。新社名である(株)JR 中央線コミュニティデザインは「ここにしかないらしをつくる」という経営ビジョン実現に込めた想いを表しています。

これからの時代は、今まで以上に人々の想いに寄り添い、サステナブルな視点で、より丁寧な事業展開が求められます。私たちは、この社名のもと、経営ビジョンの実現を通じて持続可能な地域社会の発展に引き続き貢献してまいります。



代表取締役社長 高橋 好一

PICKUP Project①

【nonowa 国立「もののわ」 × 都立第五商業高校】

2020年12月よりスタートした、nonowa 国立の駅改札において、きっぷ以外の商品を販売する新しい取り組みである「もののわ」では、改札内に設置されたショーケースに商品を展示し、nonowa 国立社員が販売しています。

2021年11月・2022年1月には、国立市の都立第五商業高校の生徒が企画・開発したメイクブラシ「MIRY（ミレイ）」を駅改札および南北通路で販売しました。生徒たちと駅の通路で一緒に販売を行ったこともあり、地域の高校生が頑張っている姿やその想いを受け、共感してご購入いただいたお客さまや、生徒を応援する多くの声が寄せられました。改札の活用・売上の面だけではなく、地域の若者のアイデアを地域で支える一助となっています。



今回の販売のきっかけは、地域新聞に掲載されたメイクブラシの記事を読み、nonowa 国立社員が学校へ直接連絡したこと。生徒たちが自身の企画・開発でとても熱心に活動している一方で、「コロナ禍での販売」が壁となり広報が十分にできていないという課題を聞き、「もののわ」で取り扱うことで課題解決にもなるのではないかと、今回のコラボにつながりました。生徒の取り組みの後押しとなり、メイクブラシ「MIRY」は高校生模擬起業コンテスト「リアビズ」で金賞を受賞。さらに、生徒たちの「自分たちで直接販売したい！」という声を受け、南北通路での販売も実施。生徒たちは直接お客さまに開発の際の工夫を話し、励ましの声をもらい活動への活力になりました。

【担当社員の声】

「ここにしかないもの」のストーリーにぴったりな都立第五商業高校の生徒が開発したロケット鉛筆型多機能メイクブラシ。新聞報道で情報を得て「もののわ」での販売を同校に提案し実現に至りました。改札での販売に加え、期間限定でnonowa 国立の南北通路で同校生徒による実演販売を実施し、お客さまと地域の高校生との接点を設けることができました。

nonowa 国立 諸井 和也



PICKUP Project②

【はちまるステーション】

「はちまるステーション」は、八王子・多摩地域に根差している生産者のものづくりへの想い、地域の情報を発信するアンテナショップとして、2021年12月16日、セレオ八王子にオープンしました。47件の生産者の商品や作品を取り扱っており、7割が八王子、3割が多摩地域という構成比となっています。ただ地域の商品を取り扱うだけでなく、生産者に直接店頭に立っていただき、お客さまとの会話を通して商品をPRする、生産者が取り組んでいる情報を店内の黒板に掲示するなど、八王子・多摩地域の魅力発信に努めています。



また、はちまるステーションでは出張販売も行っています。2022年4月には、初めての出張販売として、八王子市横山町にある西放射線ユーロード・横山町公園で開催されたイベント「桜祭」にショップとして参加しました。八王子市内で収穫された朝、掘りたてのたけのこなど旬の野菜や、八王子市内に出店しているパン店の菓子パンなどを取り扱い、ご年配の方からご家族連れまで幅広い年齢層の方にお立ち寄りいただけました。駅から街中に飛び出し、さらなる地域の魅力発信を続けていきます。

【担当社員の声】

生産者の想いとお客さまの生の反応の両方を受け取ることができるショップマスター兼バイヤーという立場は、地域活性化における重要なものであると捉えています。生産者からは「はちまるステーションに出品したことで販路が広がりありがたい」、お客さまからは「八王子にこういう商品があるとは知らなかった」「このお店は八王子のどこにあるのでしょうか」などのお声をいただくことがあり、生産者とお客さまの結節点になってきていることを実感しております。一方で、この取り組みを絶えることなく恒常的に行うためにも、ものに執着しすぎず、コトにつながる取り組みを計画するなど、さらに魅力を発信するにあたり、もっと多面的な発想や計画が必要であると感じています。今後もこの重要な役割をいただいていることに感謝しながら、さらなる地域の活性化に向けて積極的に取り組んでいきます。

地域活性化部兼はちまるステーション店長 大熊博道



2. Social～社会

◆地域産業の応援◆



八王子・多摩物産展

セレオ八王子北館では、地元八王子を中心に多摩地域で活躍する事業者の情報発信の場として定期的に物産展を開催しており、2022年で10回目を迎えます。また、過去に出店いただいた生産者の商品を「はちまるステーション」にて販売するなど、持続的な地域とのつながりを目指しています。

八王子織物総合展

2022年2月、セレオ八王子北館9階セレオガーデンにて、八王子織物工業組合主催「2021八王子織物総合展」を開催しました。八王子織物の歴史展示、2021年のマルベリーネクタイデザインコンペ入賞作品や多摩美術大学・桜美林大学・都立八王子桑志高校による産学協同連携作品、日本遺産認定ストーリーの一つである「多摩織」などを展示しました。産学協同連携作品では、ネクタイ生地を再利用したベアドールなど、織物のまち八王子の新たな文化承継を感じさせる発想豊かな作品が目を引きました。



国分寺市自然環境保全活動への参加

当社が国分寺市と締結している地域活性化包括連携協定に基づき、市と連携した自然環境保全活動の一環として、セレオ国分寺でオリジナルエコバッグの制作、販売を行いました。売上金の一部は国分寺市に寄付しています。デザインには、市のイメージキャラクター「ぶんじほたるホッチ」を使い、セレオ国分寺のほか、国分寺マルイ、国分寺市役所で販売。国分寺市の豊かな自然を守る、お客さま



©ホッチプロジェクト

参加型の取り組みとして、有意義なものになりました。



こくベジ

セレオ国分寺では、国分寺産野菜「こくベジ」の振興を目的に、生産者や国分寺市などで組織している“こくベジプロジェクトチーム”の一員として、こくベジを通じて国分寺市の魅力発信を行っています。こくベジの催事販売や、館内ショップでこくベジメニューを提供する取り組みを行っています。

また、こくベジを使ったワークショップも開催しています。2021年度は、干しいもの作り方講座や、さつまいものツルを使ったクリスマスリース作り、清水農園の見学ツアーを開催しました。催事販売に加え、ワークショップを通じて地域みなさまにお楽しみいただく機会を提供していきます。



もののわ



PICKUP Project①でご紹介したように、nonowa 国立では、2020年12月より、駅改札において、きっぷ以外の商品を販売する新しい取り組みである「もののわ」をスタートさせました。改札内に設置されたショーケースに商品を展示し、nonowa 国立社員が販売しています。「もののわ」という名前は、いつも使う駅の改札でここにしかない「もの」と出逢い、その出逢いの「わ」が沿線に広がってほしいという想いから、nonowa 国立社員が名付けました。nonowa 国立社員が自ら地域（街）に赴いて販売する商品を選ぶこともあり、その背景を知り、地域と深く会話するきっかけにもなっています。

2. Social～社会

◆地域産業の応援◆

ものづくりのわ

「ものづくりのわ」は、2020年9月に nonowa 国立からスタートした、ハンドメイドの小物販売やワークショップ企画です。普段何気なく使っているモノも、誰かの手仕事によって出来ていて、私たちの生活や日常を豊かにしてくれているというつながりに注目し、地域でくらす障がいのあるクリエイターを支援しようと始めました。地域のみなさまとクリエイター、そして nonowa 国立社員が交流する新たなコミュニケーションの場となっています。今後はこの輪を活かし、nonowa 国立にとどまらず、当社駅ビル、各受託駅などにも広がっていきます。



中央線パンまつり

地域とともに中央線沿線を盛り上げる取り組みとして、2020年に国立エリアでスタートした「中央線パンまつり」は、2021年11月で3回目の開催となりました。nonowa 東小金井・nonowa 武蔵境・高架下の3会場で開催し、各会場を巡る「中央線パンまつりラリー」も実施しました。会場を分散したことで大きな混雑もなく、沿線の景色と中央線沿線のベーカリーのおいしいパンをテイクアウトで楽しんでいただき、2日間で1.2万個の販売にもつながりました。



C-Legend オリジナルビール

C-Legend とは中央線の「C」、JR EAST・CELEO・nonowa・GRANDUO を組み合わせた造語で、「中央線沿線の魅力発信」のために活動しています。2021年度は実行初年度として、オリジナルクラフトビール「たまには」を製造し、セレオ八王子にて販売しました。「たまには」は商品コンセプト～原材料選定～仕込み～ラベル作成～販売まで、メンバーが関わり完成させた、りんごフレーバーのクラフトビールです。りんごフレーバーのめずらしいビールは大変好評でした。



◆地域産業の応援◆

Graphic Goods Store PROJECT

「Graphic Goods Store PROJECT」は、武蔵野美術大学と2021年7月から2022年3月まで産学協同で進めたプロジェクトです。

同大学の学生がデザインした各種グッズを、セレオ八王子・セレオ国分寺・セレオ甲府内で展示し、購入を希望されるお客さまにオンデマンドストア



C&M (Graphic Goods Store by Chuo Line &

MAU) で販売することで、学生のデザインをビジネスにつなげ、在庫を持たずにD2Cを実現できるショールーミングストアにチャレンジしました。期間中、プロジェクトは異なるテーマで2回開催し、14名の学生に参加いただきました。



かてかてアート展

セレオ八王子では、2022年2月9日～13日に、東京都が取り組んでいる障がい者の芸術文化活動支援事業として「かてかてアート展」を開催しました。八王子市内全域で一体感のある展示会にするため、セレオ八王子をメイン会場として市内25か所で障がいのある方が制作した絵画、織り作品、造形作品などを幅広く展示しました。期間中に延べ3,527人のみなさまにご来場いただき、9階セレオガーデンでは、緑溢れる環境のなかで植栽と調和を図った作品展示を、5階のイベントコーナーでは、輪投げやカプセルトイなどお客さまが参加して楽しめる作品を展示しました。



2. Social～社会

◆地域の交流づくり◆



高尾山撫で木受け付け

セレオ八王子では、高尾山薬王院の主要行事の一つである「火渡り祭」で護摩木とする「撫で木」の受け付けを2022年2月4日～3月12日にて承り、お客さまからお預かりした願いのこもった706本の「撫で木」を高尾山薬王院にお届けしました。これは「八王子駅・セレオ八王子⇄高尾山の往来を強化したい」という想いから、社員が自ら高尾山薬王院へ訪問、実施に至りました。また、「火渡り祭」当日には、セレオ八王子のレストランで使用可能な200円クーポン券を現地で配布し、地域への回遊を促進しました。

ヴァンフォーレ甲府応援フラッグ掲出

セレオ甲府と甲府駅の壁を越えた企画イベントとして、ヴァンフォーレ甲府応援フラッグの掲出を実施しています。「ヴァンフォーレ甲府」と「セレオ甲府+甲府駅」の連携により、サッカー観戦に伴う人の流れを地域活性化につなげることを目的とし、甲府の街を盛り上げるための企画です。「スタジアムへお越しの際にはぜひセレオ甲府をご利用ください！」を合言葉に、ヴァンフォーレサポーターはもちろん、アウェイチームのサポーターのみなさまにとっても、楽しんでいただける駅ビルづくりに努めています。



窓拭きサンタ

セレオ甲府では、屋外窓拭き清掃と懸垂幕枠の点検を年4回行っています。特に12月は作業員がサンタの衣装を着て実施し、クリスマスシーズンを盛り上げる地域の恒例行事となっています。昨年は、コロナ禍の中で「明るい気持ちになる」など、多数のご好評をいただきました。



◆地域の交流づくり◆

とんがらし学校

nonowa 武蔵境は、nonowa 武蔵境の近くの畑で、かつての武蔵野近郊名物・唐辛子の苗植えから収穫、キャップとりまでを行うイベント「とんがらし学校」に参加しています。nonowa 社員のシンボルである制服・制帽で参加することで、「駅員さんが来てくれた」とよろこんでいただきました。出来上がった唐辛子は nonowa 武蔵境の店舗で販売し、地元の小学生が駅構内でPRをするなど、さまざまな場面で地域のみなさまと連携して取り組んでいます。



よりみち Terrace

「よりみち Terrace」は nonowa 武蔵境に隣接する nonowa Terrace を、日頃からお客さまにふらっと気軽に立ち寄っていただけるような広場にしたいという思いから実施しているイベントです。人工芝を敷いてその上でのんびりしたり、地面にチョークで落書き遊びをしたり、ご家族連れでお楽しみいただけるコンテンツを中心に開催しています。今後も地域に根差した存在として、nonowa 武蔵境の象徴となるイベントに育てていきます。



境南フェスタ

武蔵野市立境南小学校5年生のみなさまによる「境南フェスタ」は、「武蔵野市民科」の授業の一環として nonowa Terrace で行われたイベントです。実際に商品を買ったり、街をPRする紹介動画を作ったり、イベントに来たお客さまにゲームを楽しんでもらう経験を通してビジネスを学びたいという小学生の想いと、nonowa Terrace に賑わいを創出したいという当社の想いが一つになりました。



2. Social～社会

◆地域の交流づくり◆



くらすクラス

nonowa 稲城長沼近くの高架下交流施設「くらすクラス」。2021年度からJR東日本より運営の委託を受け、JRCCDらしい交流の幅を広げています。2022年度は自主イベントとして、月に1回の頻度で「広場 de マルシェ」を開催しました。地元のプレーヤーの掘り起こしを目的としたマルシェに nonowa 社員もダンサー「エキザイル」として参加したり、普段の日も音楽や読み聞かせなどの賑わいのある「よりみち広場」にしたりと、地域と一体となり日々活動しています。

リアル電車ごっこ

2021年11月、JR東日本、西武鉄道と連携し、中央線・多摩川線・南武線に囲まれたエリアの地域活性化に寄与する取り組みの一つとして「リアル電車ごっこ」を開催しました。nonowa 武蔵境・nonowa 東小金井・西武鉄道多摩川線・南多摩駅・稲城長沼駅を舞台にした仮想鉄道『JR西武中央多摩川稲城鉄道』を参加者が自ら「電車」になりきって回遊し、自由に巡る企画です。チェックポイントでの入場も人気で、1,200名にご参加いただきました。



武蔵境フリーペーパー「iisakai (いいさかい)」

武蔵野市立第二小学校6年生のみなさまが「武蔵野市民科」の授業の一環として作成した「iisakai」。nonowa 武蔵境の記事も掲載され、小学生記者に支配人（駅長）がインタビューを受けました。発行後は地域の多くの方々に手に取っていただくため、駅南北自由通路や、イベント「よりみち Terrace」にて配布するなど、アピールにおいても連携しました。地域を盛り上げたいという願いを共有しています。



駅のメッセージボード

大学などが数多くあり、学生の利用も多い中央線。受験シーズンや卒業シーズンには、LED 出発表示器や駅構内のホワイトボードの手書きメッセージなどを通じて、学生のみなさまを応援しています。nonowa 東小金井では春の卒業シーズンを迎え、駅側から情報発信をするだけでなく、ご利用になるお客さまの駅への想いを受け止めるため、90cm×180cm 程のメッセージボードを活用し、お客さまに自由にメッセージを書いてもらう取り組みを行いました。ボードはお客さまのあたたかい想いの詰まったメッセージやイラストで埋め尽くされました。



屋上菜園

セレオ八王子では、「コミュニティ&くらしづくり」と「セレオのファンづくり」のため、屋上菜園ソラドファームを運営しています。29 区画に分けた菜園をお客さまにお貸しし、自由に栽培を楽しんでいただいています。なかでも秋に実施する収穫祭は人気を博しています。

鉄道フェスタ

2021 年 10 月 17 日、nonowa 武蔵境に隣接する広場 nonowa Terrace にて、鉄道の日(10 月 14 日)にちなんだイベント「鉄道フェスタ 2021 in 武蔵境」を開催しました。nonowa 武蔵境社員オリジナルのペーパークラフトジオラマ展示や乗務員のアイテム紹介、駅弁の販売などを通じ、鉄道や旅の魅力を紹介しながら、鉄道で働く社員との交流の場として地域のみなさまに楽しんでいただきました。



2. Social～社会

◆新たな試み◆

プログラボ



プログラミングというと、数字や文字が並ぶ難しい技術と思われがちですが、子ども向けロボットプログラミング教室「プログラボ」では、身近な題材のテキストとロボット教材でお子さまも楽しく学ぶことができます。また、プログラミング教育を通じて「自ら課題を見つけ、解決する」といった未来を生きる子どもたちに必要な力を育みます。



当社事業エリアである中央線沿線のみならず、西武池袋線や京王線沿線にも開校し、地域とともにお子さまに ICT を活用した学びの環境を提供しています。2022 年春にはセレオ八王子校、ひばりヶ丘校などを新規開校し、全体で約 1,000 名の生徒さまに通っていただいています。また、都内の私立小学校や私立幼稚園では、正課や放課後の習い事としてロボットプログラミングの授業を提供しています。積極的に STEAM 教育※に取り組む地域の学校などとともに、未来を担う子どもたちの「夢を実現するチカラ」を育みます。

※STEAM（スティーム）教育とは、科学（Science）・技術（Technology）・工学（Engineering）・アート（Art）・数学（Mathematics）の 5 つの領域を横断的に学ぶ教育です。

ハローサイクリング

「ハローサイクリング」は全国シェア No.1 のシェアサイクリングサービスです。いつでも予約して、好きなところへ。街乗りから観光まで、さまざまなシーンでご利用いただけます。当社では Suicle をリプレースし、2022 年 2 月にサービスを開始しました。駅と市中をつなぐ新たなモビリティサービスとして、市中回遊による中央線沿線活性化に寄与します。

 HELLO CYCLING



STATION SWITCH セミナー

セレオ八王子9階にある「STATION SWITCH」では、2021年11月より、講師をお招きし月1回の頻度でセミナーを開催しています。会員はもちろん、一般の方も参加可能とし、ご参加いただいた方々へ新しい視点やビジネス、学びに活用できる場所、情報を提供する取り組みを行っています。



駅ホーム上クリニック

2022年4月、nonowa 西国分寺の中央線上りホームに、「あおいクリニック 駅ホーム西国分寺一」が開業しました。対面（リアル）と非対面（オンライン）の両方で診察が受けられるハイブリッドクリニックを通じて複数の診療科目による総合的な診察を受けられます。医療サービスへのアクセス性を向上させることで、患者さまや地域のみなさまの「心豊かな生活」を実現していきます。



改札でクックパッドマート受け渡し

稲城長沼駅では「クックパッドマート」で購入した商品を駅改札で受け取れるサービスを実施しています。アプリで事前購入のため、お待たせすることなく受け渡しが可能なおえ、新鮮な食材やこだわりの商品がいつもの駅で受け取れます。稲城長沼駅社員も販促活動を行い、商品の受け渡しを通して地域のみなさまと交流する機会も増えました。

※実証実験のため、2022年9月にサービス終了予定。



改札でベルメゾン商品の受け渡し

nonowa 武蔵境・nonowa 東小金井では、「ベルメゾン」で注文されたお客さまが、駅で商品を受け取れるサービスを実施しました。これは早朝から深夜まで開いている駅窓口の特性を活かし、駅受け取りを指定していただければお客さまの都合のいい時に受け取れるというものです。宅配便の再配達軽減にも一役買いました。 ※実証実験のため、2022年4月にサービス終了。



2. Social～社会

◆新たな試み◆

特急列車輸送

2021年10月、朝獲れの山梨県のブランド魚「富士の介」を甲府駅から八王子駅まで特急かいじで運び、鮮度が高いままセレオ八王子の「魚力」で販売しました。当日は養殖場の方に富士の介の説明やおすすめの食べ方をお客さまにお話しいただいたことで、富士の介の魅力をより多くの方に知っていただくことができました。



傘のレンタルサービス

nonowa 武蔵境の改札前では無料のレンタル傘サービスを行っています。雨が降るとご利用が増えていったん在庫がなくなりますが、いつか返却され、またご不要になった傘を寄付してくださる方も多くいらっしゃいます。地域で使わなくなったものがそのまま捨てられずに次の誰かの役に立つこのサービスは、地域のみなさまのおかげでサイクルが成り立っています。

荷物預かりサービス

nonowa 国立では、2022年2月の国立大学の2次試験期間中、お客さまよりコインロッカー利用の要望が多いことから、一時的に駅にて荷物をお預かりする有料サービスのトライアルを実施し、75名のお客さまにご利用いただきました。顧客満足度の向上と新たな収入を見出す一歩となるとともに、ご利用のお客さまからは感謝の声が多く寄せられ、社員のモチベーション向上にもつながりました。



◆SCの取り組み◆



繁忙期のスタッフ激励

セレオ各館では、繁忙期のES施策として「激励品などの配布」を行っています。出勤したスタッフに感謝するとともに、売上獲得に奮起して全館を盛り上げていこうという企画です。配布品はショップ店長で構成するCS・ES委員会で決めています。特に、2022年のセレオ甲府元日営業では、今年一年間の飛躍を祈念して「新年激励弁当」を配布しました。

ブランドサイトリニューアル

セレオ・nonowaのブランドサイトは、お客さまの見やすさ向上、運用上の効率化を目的として、2021年12月、2022年3月の2回に分け、サイトデザインの大幅な見直しやCMS（コンテンツ管理システム）の機能追加などの改修を行いました。今後も情報をよりわかりやすく、魅力的に伝えられるよう取り組んでいきます。



nonowa 東小金井 WEST リニューアル

2021年11月に、nonowa 東小金井 WEST がリニューアルし、グランドオープンを迎えました。東小金井は周辺に大学キャンパスなどが多く、小金井公園を中心に自然と街が融合したエリア。「公園のある暮らし」を楽しむ街に合わせ、施設には多摩産材を活用しています。旧コンセプトの「武蔵野カルチュラルタン」から、明るくあたたかみのある環境に一新し、訪れるみなさまが自然と歩きたくくなるような環境に生まれ変わりました。

2. Social～社会

◆SCの取り組み◆



手話講座

nonowa 国立では、手話を用いた接客を行う「スターバックス コーヒー nonowa 国立店」（サインングストア）のスタッフを講師とし、2021年4月より毎月2回、約20分間の「手話講座」を開催しています。2022年2月には参加者をこれまでの nonowa 国立社員・SC 担当社員に加え、ショップスタッフや保安スタッフまで拡大し、館全体で共生社会の実現やお客さま視点のサービスの実施を目指しています。

PICKUP Project③

【ビジョン・ミッション・行動指針策定プロジェクト】

2021年4月に「(株)JR中央ラインモール」と「JR東京西駅ビル開発(株)」が合併し、「(株)JR中央線コミュニティデザイン」として新たなスタートを切った当社では、2021年度を通じて、ビジョン・ミッション・行動指針を策定しました。合併時に掲げたビジョン「ここにしかないらしをつくる」を軸に、ビジョン実現のために何をすべきか・果たすべき役割を明文化したミッション、ミッションを遂行するうえで社員一人ひとりが、持つべき価値観・取るべき行動を示す行動指針を決めるため、メンバー17名とともにプロジェクトを進行しました。

【担当社員の声】

「ここにしかないらしをつくる」ために、どのような言葉で目標を掲げ、どのように行動していくべきか、プロジェクト事務局として、さまざまなメンバーの意見を取り入れながら検討を重ねてきました。結果として、簡潔でわかりやすく、会社として目指すべき姿を形にできたと考えております。今後は、このビジョン・ミッション・行動指針を全社員が理解し、社員一人ひとりが意識した働き方を体現できるよう、浸透を進めていきます。

経営企画部 齋藤 七瀬



Vision
ここにしかないらしをつくる

Mission
「駅」の定義を書き換えながら、
次の快適・安心・よろこびを創造し、
くらしへの愛着をともに育む。

- Value
- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 誰よりも深く地域を考えよう | 2 やってみようを合言葉に |
| 3 前例よりも異例を目指そう | 4 自分の成長を仲間の成長へ |
| 5 役割を超えて連携しよう | 6 感謝の気持ちをエネルギーに |

◆社内環境整備◆

CCD-college



「CCD-college」とは社員の知見を広げる目的で、社内外から講師を招いて開催する社内勉強会です。この取り組みは、2018年12月から旧(株)JR中央ラインモールで始まりました。合併初年度の2021年度は計3回開催し、さまざまな分野で活躍されている方々（社会保険労務士、フィナンシャルプランナー、シェアサイクル事業者の代表取締役）を講師としてお招きし、講義終了後は活発な意見交換が行われました。今後も多くの社員に参加してもらえよう、継続的に計画していきます。

電子立案・電子契約・勤怠管理などの制度化

「新しい働き方」の推進とペーパーレス化、業務の効率化を目的に、契約、立案、年末調整などの業務を電子化するとともに、パート社員のシフト作成や勤怠管理、交通費精算もシステム化しました。これにより社員がどこでも働ける環境を実現することができました。またこれらの導入に合わせて社内ルールの見直しや統一、わかりやすい申請フォームなどの作成に取り組み、コンプライアンスの向上にも貢献することができました。

社内eラーニングサービスの導入

2021年1月より、オンラインでさまざまなビジネス研修を受講できるeラーニングサービスのアカウントを社内の希望者に対し貸与しています。いつでも好きな場所で好きな時に学べる環境を構築し、社員の能力開発を支援しています。



2. Social～社会

◆安全・安心の提供◆

駅の安全・安心のために

JR 東日本の駅業務を受託し、駅を運営する当社にとって、安全・安定輸送の確保は最も重要な使命の一つです。お客さまが安心して快適に駅や列車をご利用いただけるよう、さまざまな訓練を行っています。2021年10月には人身事故対応訓練、11月には nonowa 国立構内にて列車待避訓練を実施し、スキルアップ・レベルアップを図っています。



人身事故対応訓練（2021年10月）



列車待避訓練（2021年11月）

新入社員着任後には、JR 東日本八王子支社 駅運転・運行業務実地訓練所で、駅運行業務の基本的な動作の習得、列車非常停止警報装置の取り扱い、線路内落とし物拾得作業を学ぶことを目的とした訓練を実施します。

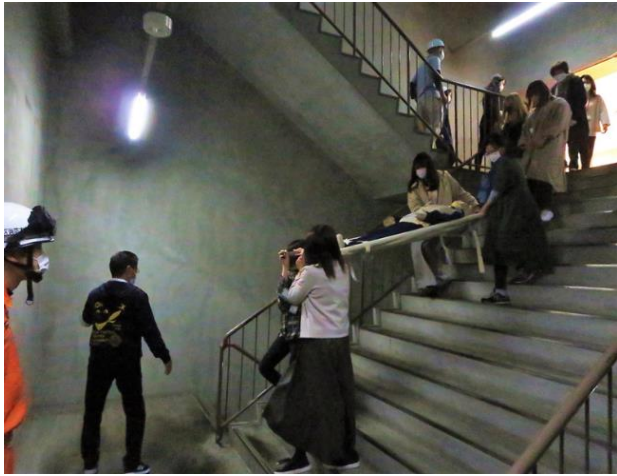
また、鉄道業務の経験がない本社やショッピングセンター担当社員を対象にした「駅業務体験会」を実施し、「危険を感じたら、躊躇せず列車を止める」、JR グループの一員として「安全・安定輸送を担う」という意識の向上に努めています。



新入社員研修（2021年5月）



駅業務体験会（2021年12月）



セレオ・nonowa での消防訓練

セレオ・nonowa を問わず、駅・SC で働くすべての人が火災など「いざという時」に確かな誘導・案内・避難ができるよう、年 2 回、消防署などと連携して消防訓練を行っています。

特に、セレオ甲府における自衛消防訓練では、災害発生時にその場に居合わせたショップスタッフが「自ら考えて行動できる」を目標に、5 年計画を策定しています。2022 年度は、火災はもとより、地震・台風などの災害による停電時の対応に主眼をおいて、負傷したお客さまを

想定した担架搬送や避難誘導の訓練を行います。

nonowa 国立では、避難誘導には放送や声掛けだけでは不十分な点があるとわかり、耳の不自由な方や外国人の方のために手話や多言語での案内もできるよう工夫しています。今後もさまざまな状況での確かな動きができるよう継続して訓練を実施していきます。



食品の安全と衛生レベルの向上

食品衛生に関する検査は年 2 回実施しています。店内調理施設ふきとり検査や調理施設の構造設備、製造工程のチェックや異物混入防止方法の確認などが検査項目です。また商品をサンプリングして原材料やアレルギー表示、原産地などの表示点検も行います。検査結果はショップと共有して改善し、食の安心・安全に努めています。特に、セレオ八王子では、お客さまの食の安全を守るとともに館内で快適に過ごしていただくために、毎月 2 回専門業者による防虫・防鼠対策と厨

房環境調査を行っています。今後も食品の安全と衛生レベルの向上に向けて、継続的な改善に取り組んでいきます。



3. Environment～環境

◆環境目標◆

JRCCD の環境目標

当社では、社会の一員として、JRグループの一員として、3つの環境目標を掲げています。

ゼロカーボンチャレンジの達成

2030年までにCO₂排出量50%削減（2013年度対比）

2050年までにCO₂排出量実質ゼロ（2013年度対比）

資源循環を構築

2030年までに食品廃棄物の最終処分量50%削減（2020年度対比）

2030年までにワンウェイプラスチック25%削減、60%切替

地域コミュニティとくらしの環（わ）をつくる

2030年までに地域住民を巻き込んだ循環の取り組みを10件行う（2020年より累積）

資源使用量

当社では、事業活動に伴い使用・排出される環境負荷を把握し、その低減に努めています。

資源使用	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
エネルギー（原油換算）	kl	5,965	5,799	5,569	5,060	5,032
水資源：水使用量	m ³	483,703	495,550	489,394	488,898	345,973
：排水量	m ³	381,555	378,778	379,300	276,610	171,200
紙資源	kg	9,384	9,472	9,338	6,919	5,875
廃棄物	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
一般廃棄物	t	4,435	4,494	4,386	3,524	3,459
：リサイクル処理	t	2,232	2,225	2,234	2,583	2,344
：リサイクル率	%	50	50	51	73	68
産業廃棄物	t	1,155	1,037	1,079	836	833
：リサイクル処理	t	930	870	979	756	723
：リサイクル率	%	81	84	91	90	87

◆地域と環境◆

多摩産材の利用

多摩産材は多摩地域で生育・生産された木材のことです。森林を健全な状態に維持するには、間伐などの適切な手入れが必要です。多摩で森林を育て、育った木を使って木材として利用することは、得た収益を次の多摩の森林を育てる費用にあてるという循環にもつながります。

◆nonowa 東小金井 WEST◆

2021年度は nonowa 東小金井 WEST のリニューアルにあたり、「緑×人×街 つながる」をコンセプトとした nonowa の環境デザインを体現し、環境保全に対しても意義を PR できる木質を基調とした計画を採用。メイン中央通路および施設内の2つの円形広場の壁面に多摩産材を用いた意匠を施し、円形広場の一つには多摩産材を使用したベンチ3基、プランターボックス1基を設置しました。



SC 休館日清掃・駅夜間清掃

当社の施設では、お客さまに安全・安心・快適にご利用いただくため、大規模な清掃を定期的に行っています。

SCについては、特にセレオ八王子では、2月と8月の休館日に、営業時間内ではできない店舗内清掃やスタッフ用休憩室およびロッカールームの清掃、屋上の苔取り、共同厨房などの清掃などを行っています。また、昨今は新型コロナウイルス感染防止に関わる消毒などの作業もしています。携わった社員一同は、普段の気がかりが解消できた達成感を抱きつつ、綺麗に蘇った設備施設でお客さまに楽しく過ごしていただけるよろこびを感じて1日の作業を終了しています。

駅構内の清掃は営業終了後の夜間に実施しています。2021年6月と12月には駅構内の美化と社員の安全意識の醸成を目的に、コンコースや券売機周辺の高所、線路内およびホーム下の空間など営業中では作業できない箇所の清掃を実施しました。



3. Environment～環境



◆SDGsの達成に向けて◆



サステなぶんじ

2022年1月にセレオ国分寺で実施した「サステなぶんじ」は、サステナブルをテーマにしたイベントです。国分寺市のオーガニック食材を量り売りするショップの催事出店のほか、SDGsに関連するワークショップやスポットラリー、フードドライブなどを行いました。SDGsをテーマに、地域とのつながりを強く感じられるイベントとなりました。

古着下取りキャンペーン

2021年度にセレオ八王子・セレオ国分寺で開催した「古着下取りキャンペーン」は、お客さまがご不要の洋服をお持ちいただくと、セレオの一部ショップで利用できる500円クーポン券を差し上げるキャンペーンです。お客さまの3密を避けるため、LINE申し込みによりお持ちいただく時間を指定して開催し、3日間で合計4,380枚(1,430kg)の古着が集まりました。集まった古着は業者に買い取られ、国内で古着として販売されたほか、繊維製品に再加工して利用されています。古着業者が買い取った代金は八王子市社会福祉協議会へ全額寄付しました。



フードバンクへの非常食の寄贈

本社・セレオ・nonowaでは、賞味期限間近の災害時非常食を各エリアのフードバンクを通じて寄贈しています。セレオ八王子では、災害時の非常食として保管していたアルファ米600食の賞味期限が間近となったため、2021年5月に一般社団法人フードバンク八王子へ寄贈しました。非常食はコロナ禍の中、八王子市内の子ども食堂などで有効に活用されました。



PICKUP Project④

【ぽっぽやエール→ビールフェス】

「ぽっぽやエールプロジェクト」は、「中央線ビールフェスティバル」をきっかけに始まった新たな試みで、ホップ栽培からオリジナルエールづくりまでを nonowa 武蔵境を中心に実施する企画です。2021年3月、nonowa Terrace にて地域のみなさまと一緒にホップの苗を植えて栽培をスタート。nonowa 武蔵境社員が水やりと手入れをしながら生育状況を確認し、Instagram の投稿や駅構内の掲示で情報発信を行いました。



ホップは地域のみなさまに大切に見守られながら10月に無事収穫を迎え、nonowa 東小金井～nonowa 武蔵境間の高架下にあるブルワリー「26Kブルワリー」ご協力のもと、オリジナルエール「ぽっぽやエール」の醸造に使用されました。12月には瓶に貼るラベルデザインを一般公募し、完成した「ぽっぽやエール」は「中央線ビールフェスティバル」のオンラインパック商品として、また NewDays 武蔵境にて販売されました。

【担当社員の声】

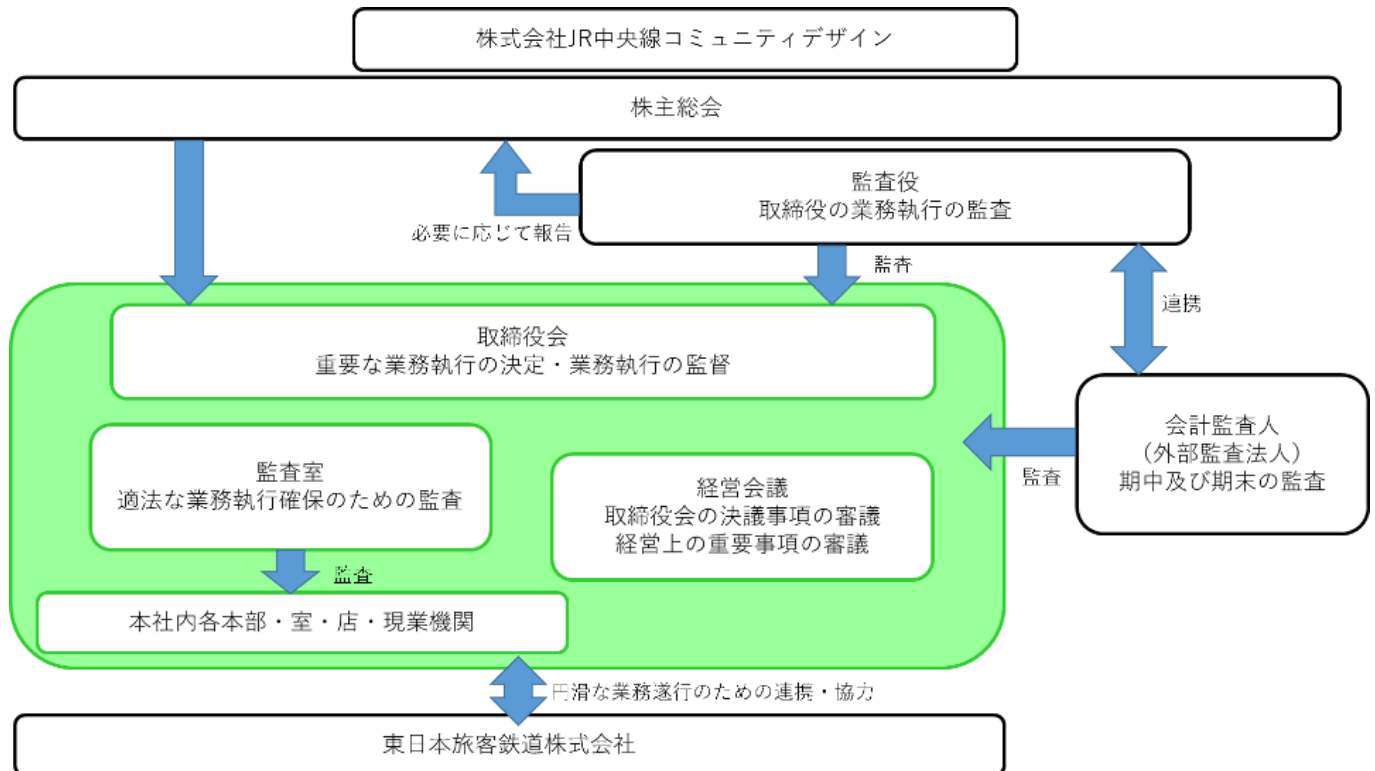
nonowa Terrace での水やりやイベントの際に、地域のみなさまから「ホップの成長とエールの完成を楽しみにしています」などのあたたかいお声をいただき、ホップを介して生まれた駅と地域とのつながりを感じる取り組みでした。プランター組み立て・土づくりから収穫まで、nonowa 武蔵境のみんなが愛情を持って関わってきたホップが、オリジナルエールとなってみなさまの手元に届いたことをとても嬉しく思います。

nonowa 武蔵境 武田奈緒子



4. Governance～ガバナンス

コーポレートガバナンスについて



当社は、お客さまおよび地域のみなさまをはじめとするあらゆるステークホルダーに満足いただけるよう、事業の持続的な成長と企業価値の向上を目指します。安全・安心の追求、商業施設（駅間施設を含む）の運営力強化、新規開発や新規事業の展開をはじめとする経営課題に対して、公正かつ透明な意思決定を迅速に行い、経営環境の変化に対応していきます。

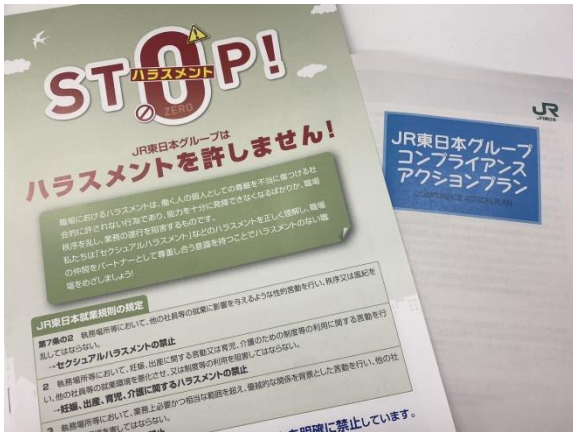
原則として月1回取締役会を開催し、重要な業務執行の決定・監督を行っています。また、原則として月2回経営会議を開催し、取締役会の決議事項やその他経営上の重要事項について審議を行っています。

さらに、各本部・セレオ・nonowaを対象として、監査室が適法かつ効率的な業務執行確保のための監査を定期的実施しています。その監査結果について経営トップと情報を共有することで、課題の解決や不正・誤りの防止に努めています。

監査役は、取締役会への出席などを通じ、取締役の業務執行の監査を行っています。会計監査については、有限責任あずさ監査法人（会計監査人）が期中および期末に監査を行っています。

また、円滑な業務遂行に向けて、東日本旅客鉄道㈱と連携・協力をしていきます。

コンプライアンスについて



当社は「法令遵守・企業倫理」を経営の根幹と捉え、内部統制システムを整備するとともに、関係する法令を遵守し、企業倫理に従って事業運営を行っています。

JR 東日本グループ理念に加えて、JR 東日本グループの企業行動指針である「法令遵守及び企業倫理に関する指針」に沿った望ましい行動の在り方が記載された「コンプライアンス・アクションプランハンドブック」を全役員、全社員に配布し、これを教材として、毎年コンプライアンス研修を実施しています。

当社 HP では、当社内に設置したコンプライアンス相談窓口および社外のコンプライアンス相談窓口である JR 東日本の担当部署を掲載し、法令遵守・企業倫理に違反した、または違反するおそれのある行為に係る情報の受付方法を提示。取引会社の従業員からの相談など、幅広い対象者から情報を受け付けています。「リスクの未然の防止」と「リスク低減」の取り組みを推進するため、安全総点検をはじめとした防火・防災に対する実践的な訓練を毎月実施するとともに、セレオ・nonowa にて必要に応じた各種研修を行うことで、異常時対応力の向上を目指しています。また、事件・事故といった不測の事態の発生など「顕在化したリスク」に対しては適切かつ迅速な対応を心がけています。

さらに、研修や日々の気付き、振り返りを通して、安全や人権、リスクマネジメントなどに関する意識の醸成を図るなど、コンプライアンス活動の強化、さらなる深度化に向けた取り組みを継続していきます。

情報セキュリティ・個人情報の保護について

「個人情報の保護に関する法律（個人情報保護法）」をはじめとした関係法令に基づき「個人情報管理規程」を策定し、個人情報管理責任者を設置しています。業務上必要な社員だけが利用できるよう、アクセス権限管理を徹底しています。個人情報の収集や取り扱い、管理などに関する方針をプライバシーポリシー（個人情報保護方針）として定め、個人情報保護に対する意識向上を図るべく教育を実施しています。また、「JR 東日本グループ情報セキュリティ基本方針」に基づき情報セキュリティ管理体制を構築し、情報システム利用のルールブックを通じて全社員を対象に教育を実施しています。



株式会社 JR 中央線コミュニティデザイン
経営戦略本部 経営企画部
サステナビリティレポート 2022

2022 年 7 月発行
〒184-0004
東京都小金井市本町 1-18-10
小金井本町ビル 5F

<https://www.jrccd.co.jp/company/>